
K O O L 2

春乃 璃紗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

K O O L 2

【Nコード】

N 2 6 0 4 E

【作者名】

春乃 璃紗

【あらすじ】

短編K O O Lの続きです。その後のふたりを書いてみました。これだけでも、大丈夫だと思いますが、一応前作を読まれる事をお勧めします。

『…なんでだあ〜？』

グシャグシャ
ポイツ

『…んーっ！？』

グシャグシャッ

『…何で描けないの〜っ?!』

グシャグシャ ポイツ

く K O O L

(きーぷ おんりー わん れでいー!) く

今日の天気はくもり。

お天気お姉さんがスカーフ巻いてたな。

(しかもヒョウ柄。どこで買ったのかな)

でも、屋上にいるあたしからは所どころに光が差し込んでるのが見える。

（こーゆーの、天使の階段って言うんだって！）

そしてあたしは今日も、世界史の授業を飛び出してコンクールの絵を描く。

（日本人だから、日本史分かればいいんだよ、うん）

目に映るモノは、とても綺麗であたしの右手は、自然に動くのに、描かれたモノは全然違ったモノ。

（才能ない訳じゃないよ、調子が悪いの）

それもこれも、あいつのせいなんだ。

あいつとは、あたしの隣の席の佐久間 光。

学校で1番モテて、

（あたしの1番はダントツで保健室の雅樹さんだけどね！あの渋さったらもう、ねー！）

八股だか、九股で、

（人妻にも手を出しただか！るみちゃんが言ってた！！）

それはそれは、とにかく危険なプレイボーイ。

そんなプレイボーイに、つい4日前にキスをされたあたし。

（それはそれは、吃驚しました）

さらに吃驚するのは、そんなプレイボーイに惚れちゃってるんじゃないの？という、新事実。

（あーもう、やだ）

まだ自分でも認めたくなくて、紛らわそうとするものの、調子がない。

「まる、何ブツブツ独り言言ってんの？」

『っ?!何でいんの?!』

そこには、今あたしの絶不調の原因の彼がいた。

「にゃん太が怒ってたぞ、今月1回しか授業出てないって。」

（にゃん太って？）

「…え、まさかのシカト？」

『いや、にゃん太って誰かなって思って。』

「ああ、世界史の猫田ん事。」

『…猫だから、ね。』

（くだらねー）

そーなの。とか言っただけで笑いながら、春風を受けている横顔にうつかつ
にもときめいた。

（ダメだ、ダメだ。しっかりするんだ、古丸 ゆか！）

シュボツ

『…?!』

すぐ横で火がつく音が聞こえたと思ったら、佐久間さん家の光くんがお煙草をお飲みになっていらっしやる…！

おい、ここ学校だぞ。

あたしが怪訝な目で見ていることに気付いたのか、

「お前、煙草の匂いダメなの？」
って聞いてきた。

『…苦手って言っても吸い続けるでしょ。』

あたしは、

「まあね、もったいないし。」とか何とか言うんだと思ってたのに、

「お前が苦手なら吸わねーよ。」って。

（ちょっと、なにこのドキドキ!!）

「お前だから、吸わねーの。」

わかる？と言うように、あたしを見る。

（全くもって分からない!!）

理解が出来ずに佐久間を見ると、あたしの口にほろ苦い味が。

「お前がスキだから、煙草やめれんの。」

『う、そだ。』

「本当だったの。」

『…煙草はやめなくていいから、女の子切って?』

「ん、了解。」

『…人妻さんもだよ?』

「おう。」

『…じゃあ、あたしもスキ。』

「ありがと。」

あたし達が結ばれた時、神様が祝福してくれたのか、またひとつ天使の梯子が降りてきた。

（でも、何で煙草はいいの？）

（だって、その煙草の名前スキなんだもん）

（…は？）

く K O O L

(きーぷ おんりー わん れでいー！) く

(一人の女を愛し続ける)

- E N D -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2604e/>

K O O L 2

2011年1月13日03時28分発行